

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果（11/21～11/29）

(ミリベクレル/m<sup>3</sup>)

	採取日	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29
川房公会堂 (小高区川房)	Cs134	不検出	0.32	不検出						
	Cs137	0.66	0.85	0.19	0.68	不検出	不検出	不検出	0.41	不検出
横川ダム (原町区馬場)	Cs134	不検出								
	Cs137	不検出	0.20	不検出						
原町保健センター (原町区小川町)	Cs134	不検出								
	Cs137	不検出	不検出	不検出	0.28	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
高平生涯学習センター (原町区下高平)	Cs134	不検出								
	Cs137	0.19	不検出							
鹿島区役所 (鹿島区西町)	Cs134	不検出								
	Cs137	0.37	不検出	不検出	不検出	0.26	不検出	不検出	不検出	不検出

川房公会堂で微量（0.19～0.85ミリベクレル/m<sup>3</sup>）の放射性セシウム137の飛散が観測されています。比較的飛散量が多かった22日にはセシウム134（0.32ミリベクレル/m<sup>3</sup>）も観測されています注1。それ以外の地域では、殆ど飛散はみられません。また、浮遊じんの飛散は、特に強風時に多いという訳ではありませんし、雨天時にはほとんどみられないという傾向がありますので、巻き上がったほこりが地域限定的に飛散したものと予想します。いずれにしても、飛散量は、ごくわずかで推移していますので、前回解説した通り、このほこりを長期間吸い続けたとしても健康に影響がでるような量ではありません。